



水質改善が進む新川で行われた一夜限りの鵜飼い＝清須市で

### 鵜飼い 60年ぶり

清須 新川、浄化願

清須市の新川で二十日、戦後に数回行われたとされる鵜飼いが復活した。水質改善に取り組む市民グループが川の浄化を願って開いた。岸から大勢の住民らが、約六十年ぶりに戻ってきた一夜限りの光景を見守った。

4月20日、愛知県清州市で「新川うかい祭り」が開催されました。主催の「新川をよみがえらせる会（代表：加納祐一郎氏）」は、4年前から週5日の浄化活動を継続しており、この度の60年ぶりの鵜飼い再現に至りました。

当日は夕方からEM団子作りやライブ演奏などの催しもあり、大勢の来場者で賑わいました。

祭りの様子は、動画サイト You Tube にもアップされており、鵜飼いの篝火が作り出す幻想的な世界がご覧いただけます。

主催者の皆様、これまでの地道な取り組みおつかれ様でした。これを機に会の益々のご発展を期待しています。

←鵜飼い再現が取り上げられた21日付、中日新聞（愛知版）朝刊。

グループは定年後の男性が二〇〇九年に結成した「新川をよみがえらせる会」。きれいな川を取り戻そうと清掃活動を続けてきた。今回は犬山市の「木曾川うかい」の鵜匠の協力を得て実演。「新川うかい祭」の名前で長年の目標をかなえた。

かがり火をたいいた二隻の船が姿を見せると、来場者から「鵜がおる」と歓声が上がった。鵜飼いは計三回披露され、家族と一緒に楽しんだ新川小学校四年の井戸龍星君（九）は「船がかっこいい。また見るために、川をきれいにしたい」。

加納祐一郎代表（左）清須市土器野は「みんなで達成した鵜飼い。地道な活動が夢の実現につながった」と感慨深そうだった。

（福本英司）



感じる旅、考える旅  
トランヴェール  
Train Veil  
4  
2013  
April  
【特集】  
～海を渡った伊達の里船～  
伊達政宗、  
慶長使節四百年の謎  
【特別インタビュー】  
「宮城のお弁当」  
佐原 浩  
いま宮城を歩こう



復興支援プロジェクトの活動拠点の1つ、NPO 法人福島農業復興ネットワークが運営する復興牧場「ミネロファーム（福島市）」様が、JR東日本の新幹線車内サービス誌「トランヴェール」4月号に取り上げられました。内容ご覧になりたい方は事務局へご一報ください。

### ◇◇◇◇◇イベントのお知らせ◇◇◇◇◇

- 第9回 みんなで広げよう EM 運動 in 八戸市 2013  
【日時】5月15日(水)、13:00～17:00 【場所】八戸市公民館 【入場】無料(事前申込制)  
【主催】熊さん株式会社(0178-22-7381) 【お問合せ】左記の主催者まで
- 「善循環の輪 大阪の集い in 吹田」  
【日時】5月25日(土)、12:30～17:30 【場所】吹田市立 山田ふれあい文化センター 【入場】無料  
【主催】U-ネット 【お問合せ】U-ネット事務局 ※翌日にU-net 近畿中国地区委員会・世話人特別講座があります